

就業体験の評価と課題について

高等部3学年（15日間）、2学年（10日間）の就業体験が無事終了しました。生徒を受け入れていただいた各事業所の皆様には、心より感謝いたします。体験期間中、生徒は、それぞれの事業所で個々の目標を達成すべく仕事に取り組むことができました。各家庭では健康管理に留意していただいたり、一日の振り返りをしていただいたりするなど、ご協力ありがとうございました。

事業所から評価されたことや課題として挙げられたことを、参考のためにまとめました。課題として挙げられたことは、日々の学校生活や日常生活の中で改善できるように支援し、今後の進路選択や進路決定のための指導に生かしていきたいと思えます。

○評価

（挨拶・返事、コミュニケーション）

- ・作業が終わると、次に何をしたら良いか積極的に聞いていた。
- ・空いた時間に「何をしたらいいですか。」と担当に伝えることができた。
- ・分からないことや難しいと思ったことは、職員に聞いて理解を深めていた。
- ・困ったことはすぐにスタッフに聞くことができていた。
- ・休憩中など従業員みんなに話し掛け、コミュニケーションを積極的にとるところは素晴らしかった。
- ・元気な声や笑顔が、スタッフや利用者に明るい雰囲気を与えてくれたように感じた。
- ・「分かりました。」「終わりました。」など返事や報告がしっかりできていた。

（作業能力）

- ・一回の説明で飲み込みが早く、もっとスピードを極めればもっとたくさんの仕事ができると思う。
- ・間違いやミスが少なく、元気な姿で作業をしていた。
- ・初日の作業も1時間ほどで補助が必要ないくらい正確にこなしていた。
- ・分からないことは確認し、勝手な行動をせず、作業に取り組めた。
- ・真面目で素直に取り組んでおり、指示をすれば指示どおりにすぐに取り組んでいた。
- ・指示されたとおりに仕事をしていた。
- ・任された仕事は、一つ一つ丁寧に行っていた。
- ・報告、取り次ぎなどがしっかりできており、タイムスケジュールに沿って作業ができた。
- ・前日より高い目標数で取り組むことを守って行っていた。
- ・指示したことはしっかりこなしていた。作業が終わるまで集中していた。

（仕事に対する姿勢）

- ・指示に従って、問題なく仕事をする事ができていた。
- ・積極的な作業への取組姿勢がみられた。
- ・指示されたことを自らメモにとっていた。

○課題

(体力)

- ・体力づくりが必要である。
- ・休憩時間や記録を書く時間を早めに切り上げてくることがあり、しっかり身体を休めているか心配になった。

(挨拶・返事、コミュニケーション)

- ・報告は、過度な部分も多くみられた。
- ・注意を受けたときの対応には慣れていない。
- ・正しく安全な業務を行うため、それを逸脱した場合に注意するが、注意を受けても業務をストップすることなく、その注意は自分を成長させるものだと考えて、素直に前向きに業務にあたることで一段と成長できる。
- ・挨拶、返事の声が小さい。
- ・声が小さい。ゆっくり大きな声で話をする必要がある。
- ・自分の気持ちを言えればよい。
- ・お昼休みに休みたい人への話し掛けがあり対応に苦慮した。

(作業能力)

- ・作業中、集中が途切れることが多くみられた。
- ・作業の待ち時間が集中できるとよい。
- ・できなかった点を受けとめることが大事である。指摘を受けたとき、受け入れがたい感情を態度や行動で出すのではなく、いったん受けとめられるようになるとよい。
- ・職場の決まりに合わせたり、折り合いをつけられるようにしたりすることが大切である。
- ・作業中に何度もトイレへ行くことがあった。
- ・自信をもって作業するのはいいが、その分ミスが多くみられた。
- ・別のやり方で行い、工程が抜けていることがあった。
- ・作業スピードを速くできるとよい。
- ・出荷業務を一人で行ってもらったが、出荷品の数の間違いがあった。

(仕事に対する姿勢)

- ・仕事に対するやる気や熱意が感じられると、就職につながる。
- ・作業中、時間を気にして落ち着かなくなることもあった。腕時計をして時間を見て動くようにするとよい。

(その他)

- ・通勤での路線バスの遅延などの対応に心配なことがあった。